

# 美術部・情報資料部報

## 美術部・情報資料部所員異動

平成六年七月一日付で、美術部第一研究室岡田健は美術部主任研究官に昇任した。  
平成六年七月一日付で、情報資料部写真資料研究室長岡龍作は情報資料部主任研究官に昇任した。

平成六年十一月一日付で、東京国立近代美術館企画・資料課主任研究官田中淳は美術部主任研究官に配置換となった。

## 美術部・情報資料部公開学術講座

第二十八回公開学術講座を平成六年十一月十一日（金）午後、国立教育会館大会議室において左記の通り開催した。

中世肖像画異聞

米倉迪夫

黒田清輝筆「舞妓」をめぐる

三輪英夫

第二十九回公開学術講座を平成七年十一月二十八日（土）午後、国立教育会館大会議室において左記の通り開催した。

西域クチャ地方の中国様式絵画

中野照男

絵画に見る武器武具

廣井雄一

## 「日本美術年鑑」の刊行

美術部第二研究室の編集による「日本美術年鑑」（平成五年一月～十二月の記事）は、平成七年三月に刊行された。

## 黒田清輝巡回展

昭和五十二年以来、毎年開催してきた黒田清輝巡回展を、平成六年度は十月八日（土）から十一月六日（日）まで飯田市美術館において開催した。

平成七年度は二月二十五日（日）から三月二十四日（日）まで米子市美術館にお

いて開催した。  
研究会

平成六年度

五月二十五日

神護寺薬師如来像の再検討

長岡龍作

六月二十二日

高麗阿弥陀画像と普賢行願品

井手誠之輔

七月二十一日

唐招提寺金堂盧舎那仏像の台座銘について

松田誠一郎

九月 十三日

中国花鳥画の図像学

宮崎法子

十一月二十六日

聖衆来迎寺本六道絵「人道不浄相図」について

加須屋誠

十二月二十一日

中国西北地区の二つの石窟について

王 瀧

——須弥山石窟と麦積山石窟の彫塑——

二月 一日

香港中文大学文物館とそのコレクション

高 美慶

二月 十五日

日本近代美術史研究と新聞記事資料

植野健造

二月二十二日

近代韓国美術における西洋美術の導入について

金 英那

二月二十二日

米国中部山岳地帯美術館におけるアジア美術コレクション

ジュリア・ホワイト

二月二十三日

酒飯論巻卷について

並木誠士

三月 八日

敦煌第二二〇窟（六四二年）の薬師浄土図の主題と表現に関する新知見

寧 強

三月 十五日

日本銀行所蔵至元二三年銘阿弥陀如来図をめぐる

井手誠之輔

三月 十五日

愛知・西方寺所蔵阿弥陀三尊来迎図について

山本泰一

三月 十五日

源氏物語絵における語りのイメージシ化／イメージからの語り

渡辺雅子

平成七年度

五月 十日

中国における九品往生図の初期的展開

勝木言一郎

七月二十六日

——小南海石窟中窟の九品往生図浮彫を中心に——  
都久夫須磨神社本殿母屋のアイコノグラフィ

勝木言一郎

平成七年度

五月 十日

中国における九品往生図の初期的展開

勝木言一郎

七月二十六日

——小南海石窟中窟の九品往生図浮彫を中心に——  
都久夫須磨神社本殿母屋のアイコノグラフィ

勝木言一郎

十一月十五日 仏師北川運長について

張 洋一

—— 注文書を中心とした考察 ——

十一月二十九日 日本美術の「特質」をめぐって

加藤哲弘

—— 矢代幸雄と特質論の系譜 ——

黒川亀玉の交友

成澤勝嗣

十二月十三日 後期印象派考

田中 淳

一月二十四日 中国絵画における対幅

藤田伸也

黒田清輝と画家ウィリアム・ブレア・ブレス

荒屋鋪透

二月二十一日 中国浙江地方の仏教史蹟

井手誠之輔

大徳寺五百羅漢の成立事情について

西上 実

三月 十一日 北魏陝西地域の道教彫刻について

スタンリー・ケンジ・アベ

三月 十三日 山東半島の仏教造像について

岡田 健

大和文華館所蔵石造四面像をめぐって

藤岡 穰

三月二十七日 北響堂山石窟の創建年代およびその特質に関する試論

劉 東光

黒田清輝筆「大地」「海」図画稿について

山梨絵美子